



株式会社 川島製作所

〈漁業から農業分野まで
アイデアと技術力で新商品を次々に開発〉

今回紹介する企業は、海苔^の生産者向けの選別機や折曲機、結束機などを製造している、株式会社川島製作所です。

同社は昭和53年創業。川島一美社長（59歳）の父、定美さん（85歳）と叔父の藤夫さん（83歳）が、乾燥した海苔をみず（海苔巻き用の簾^{たな}のようなもの）から

はぎ取る「海苔剥ぎ機」を開発し売り出しました。この装置は、海苔生産者と協力し9年間の試行錯誤の末、業界で初めて機械化に成功したもので、全国の生

産者へ販売しました。

その後も同社は、海苔を枚数ごとに分けて折り曲げたり、結束したりする装置を次々と開発。今では、海苔生産者の約半数は、同社の装置を使うまでになり、シェアナンバーワンを誇っています。

平成16年、味付け海苔やきざみ海苔などの製造・加工を行う機械の製造販売を開始。さらに19年には、新たに農業分野にも参入し、菊選別・結束機の製造販売も開始します。24年には業界初となる、菊の花の大きさで判別して結束までを自動で行う装置も開発しました。

現在、商品は約25機種。以前は、部品の製造から組み立てまで全て自社で行っていました。商品数が増えたこともあり、部品の8割は、市内鉄工所などへ外注。自社では、主に組み立てを行っています。

同社は独自のアイデアと商品開発で10件以上の特許を持ち、

さらに今年、8件の特許を申請中。アイデアは、商品メンテナンス時の漁家や農家などの情報交換の中から生まれることが多いそうで、利用者の要求に応える開発力が、同社の強みとなっています。

また、3年前からは、有明高専と共同で、海苔の原藻を最高の状態に乾燥させる技術についての研究を行っています。東京で開かれる製造機械の展示会にも積極的に参加し、常に新しい情報を取り入れながら、アイデアと技術力で新商品開発に挑戦を続けています。

●社長のひとこと

先代からわが社は、世にない商品を、アイデアと技術力で造り出してきました。これからもお客様のニーズを細かく把握しながら、新商品開発に挑戦していきます。

【問】市商工・ブランド振興課
企業誘致・ベンチャー支援係 ☎
77・8762



4



1



3



2

- 1 工場内で行われている海苔結束機の組み立て作業
- 2 金属加工機で部品の製造も行う
- 3 昭和53年に開発販売された、業界初の「海苔剥ぎ機」
- 4 本社に併設されている工場

【企業情報】

- 本社所在地＝三橋町棚町 953
- ☎ 63・2044
- 資本金＝1000万円
- 代表取締役＝川島一美
- 従業員＝26人

